

異常な行動

識別番号	年齢 数値	年齢 単位	性別	PT名称	タミフル 服用時刻	異常な行動発現時刻	就寝中か否か (就寝中:○、就寝 中じゃない:×)	覚醒直 後に発現	就寝中の場合、 就寝時刻から発 現までの時間	回復までの 時間	一眠りして 完全回復	体温	患者の記憶	睡眠覚醒症 等の既往	睡眠覚醒症 等の家族歴	光に対する 反応	他剤による 「異常な行 動」の副作用 歴	異常な行動に 関する既往歴	異常な行動の具体的な詳細 (例:幻覚については具体的に何が見えたか?本人が幻覚を見たのか、 親が幻覚を見ていたよと言っているのか?)	旧資料No				
252	B06026663	35	年	女性	不思議の国のアリス症候 群	①2007/3/15② 2007/3/15 ②2007/3/16 ②2007/3/16 ②2007/3/17	②17:00 ②9:30 ②17:00 ②9:30	2007/3/15	①投与後比較 的早く ②18:00	×	No	—	30~50分	No	—	Yes	No	No	No	—	ウイルス性脳炎	2007/3/14 高熱、関節痛にて発症。インフルエンザB型と診断。 2007/3/15 (17:00)自宅に帰りタミフル75mg×1/回服用。(18:00)投与後比較的 早く浮遊感「とつても気分がよい感じ」が出現。多幸感を伴っていた。このためウ キウキして室内を歩いていたら「鳥が見えた」(幻視)。これに誘われるように 4Fベランダ(患者宅はマンション4F)に出て下を見たところ、「地面がとても近くに 見えた」(遠近障害)。これら一連の異常行動は不思議の国のアリス症候群に至 る。夫にみとがめられ布団に戻され事なきを得た。(22:00)就寝。(翌日9:00起床) 2007/3/16 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。(17:00)タミフル75mg×1/回投与。 不思議の国のアリス症候群回復。 (22:00)就寝。(翌日9:00起床)。 2007/3/17 (9:30)タミフル75mg×1/回投与。症状軽快。本剤中止。 2007/3/21 インフルエンザ回復。 2007/3/24 当院にこの件が報告され、デンカ生研製インフルエンザCF法(B)に て16倍の抗体価を得た。	異-2-9	
253	B06026707	45	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/26 2007/2/26 2007/2/27 2007/2/27 2007/2/28 2007/2/28 2007/3/1	18:00 23:00 不明 不明 昼 夜 朝	2007/2/28	—	×	No	—	—	—	解熱後	No	No	No	—	No	不明	2007/2/26 37.6°Cの発熱にて来院。A型インフルエンザの診断にて本剤75mg ×2回/日処方。(18:00)夕食後、タミフル内服。 (23:00)タミフル内服。 2007/2/27 朝、36.7°Cに熱は下がり回復に向かう。夜、気分が高揚し、早口の 自分に気付く。夜は寝付けなかった。 2007/2/28 歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでのりに気付く。また、踏 切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。 意識障害発現。昼夜、本剤服用。 2007/3/1 朝、本剤服用。現在、若干気分に異和感を感じる。症状は声がれと 鼻水のみ。本剤中止を指示。患者は、なぜ本剤で自殺するのか、今の自分はな んとなくわかると言っていた。 不明 意識障害回復。	異-2-10	
254	B07000244	48	年	女性	錯乱状態	2007/3/17 2007/3/18 2007/3/18 2007/3/19 2007/3/19 2007/3/20	不明	①②2007/3/20 ③2007/3/20~ 3/21 ④2007/3/21	①朝 ②午後 ③夜~朝 ④9:40	—	—	—	No	No	解熱過程	Yes	—	—	—	—	無	①何度か外出しようとする。 ②訳のわからないことを言う。 ③言動が著しく異常。朝頃動けなくなり、寝たままで大声で意味不明なことを話 す。 ④錯乱状態。立てない。失禁あり。呼びかけに返事するが、すぐに大声で話始 める。水分取れない。 2003/7 期外収縮、突発性心房細動にて当院循環器科を受診しており、アスピ リン、バイアスピリンを投与されていた。 2006/2/17 (18:20)受診。39°Cの発熱、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感を伴いタミ フル75mg×2/日を投与(〜2/19)。不安、精神神経系の症状はみられなかった。 2/20に子供がインフルエンザAに罹患している為、インフルエンザAだったと推定 される(確定診断はしていない)。 2006/2/19 (20時頃)家人に気づかれない様車で外出した。 2006/2/20 捜索願いを警察に出される。自宅より30km離れた海の岸壁で車を 発見。人が海に落ちた形跡があった。 2006/4/28 海中より死亡した本人が発見された。	異-2-43	
255	B06004486	49	年	男性	死亡	2006/2/17 2006/2/18 2006/2/18 2006/2/19 (19日の夜は 不明)	夜 朝 夜 朝	2006/2/19	20:00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	無	2003/7 期外収縮、突発性心房細動にて当院循環器科を受診しており、アスピ リン、バイアスピリンを投与されていた。 2006/2/17 (18:20)受診。39°Cの発熱、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感を伴いタミ フル75mg×2/日を投与(〜2/19)。不安、精神神経系の症状はみられなかった。 2/20に子供がインフルエンザAに罹患している為、インフルエンザAだったと推定 される(確定診断はしていない)。 2006/2/19 (20時頃)家人に気づかれない様車で外出した。 2006/2/20 捜索願いを警察に出される。自宅より30km離れた海の岸壁で車を 発見。人が海に落ちた形跡があった。 2006/4/28 海中より死亡した本人が発見された。	異-1-124	
256	B06026847	49	年	男性	自殺企図	2007/02	不明	2007/02	処方1週間後	○	Yes	—	No	Yes	解熱過程	No	Yes	No	No	No	(頸動脈血栓症)	2007/2/14 インフルエンザ予防のため、本剤75mg×2回/日処方。 2007/3/8 夜中に飲酒。 2007/3/9 (6:00頃)自殺企図。首をつろうとしていたのを家族が発見。頸動脈血 栓を治したばかりで、自殺するとは考えにくい。自殺前に本剤内服していたかは 不明。現在、精神科に入院中。 不明 本剤投与。精神症状の疑い発現。	異-2-11	
257	B05025724	51	年	男性	①自殺既遂 ②精神症状	2006/3/7	19:00	①2006/3/8 ②本剤内服前	①6:30 ②未記載	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	①②無	2006/3/1 救急外来に来院。肺結核後遺症(陈旧性肺結核)に伴う慢性呼吸不 全に感冒を合併したため、観察・酸素療法目的で入院。体温:38.1°C、血圧: 120/82mmHg、脈拍:149/分、呼吸:40/分、SPO2:96%、インフルエンザテスト(-) 2006/3/6 体温:38.1°C、インフルエンザテスト(-) 2006/3/7 経過は良好であったが、院内でインフルエンザに感染。(18:00頃)両 下肢のしびれ感などの合併があり、将来の健康に関して全般的不安を訴えてい た。(19:00頃)体温:39.2°C、鼻腔粘膜の迅速検査でインフルエンザA陽性確認。 発症時自覚所見:発熱(39.2°C)、咳、倦怠感、食思低下。タミフル75mg、ナバ 600mg内服。(22:00)体温:37.3°C 2006/03/08 (5:00)生存を確認。(6:30)病床不在を確認。自殺目的で4階自病室 前のベランダから飛び降りた。(7:39)自病室前の路上に倒れているのを発見され たが、死亡していた。自室のノートに遺書あり。	異-1-79	
258	B07000264	51	年	男性	意識レベルの低下	2007/2/6	夕	2007/2/6 2007/2/7	19:30 2:00	×	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	不明	2007/2/6 (9:30)頭痛で当院受診。インフルエンザ検査(-)。タミフル、プレジシ ン、グロリアミン投薬。受診後、出張。(昼)タミフル75mg、プレジシ1T服用。(夕 方)40°C程の発熱により、タミフル75mg、プレジシ1T服用。(19:30)しゃべりにくくな り、また身体が痛く動けなくなる。意識障害発現。 2007/2/7 (2:00)同僚の車でB病院に受診。インフルエンザ検査(-)。以後本剤 服用せず。同僚の車でB病院からC病院へ転院を試みる。移動中に車から道路 に出ようとし、危険だったのでB病院へ戻る。異常行動発現。(朝)救急車でB病院 からC病院へ出発。(11:50)C病院到着。到着時、患者は言葉にならず、点滴を外 そうとして意識は普通ではなかった。不穏状態。JCS3。入院。 2007/2/8 (朝)意識レベル改善。 2007/2/24 意識障害回復。	異-2-48	
259	B07000076	54	年	男性	①譫妄 ②腎不全 ③異常行動	2007/3/22 2007/3/24	15:00 朝	2007/3/22 2007/3/24	夜 朝	×	Yes	—	30分	No	発熱持続	No	No	No	No	No	No	無	尿・便失禁後、便の上に座ったりベッドの上に立つ等の行動。	異-2-18
260	B05020017	56	年	男性	精神症状	2005/2/18~ 2/21	1日2回	2005/2/21	服用から2hr後	—	No	—	—	Yes	解熱後	Yes	No	—	No	No	不明	2005/2/18 インフルエンザ治療のためタミフル投与開始。(150mg/日 ~2/21) 2005/2/21 夜服用し2時間後に突然うつ状態になり自殺したくなる。窓から飛び 降りたくなる衝動にかられたが、子供のことを考えとどまる。(精神症状発現) 2005/02/22 精神症状回復したが、恐ろしくなり本剤を自発的に中止。	異-1-33	